



かざこし

長野県長寿社会開発センター 41号

(公財)飯伊地区賛助会 平成28年4月15日

事務局 飯田市追手町2-678

飯田保健福祉事務所福祉課 (飯田合同庁舎)



ボケ(木爪)の花

シニア世代の社会参加

飯伊地域で活動している グループ活動発表と意見交換会

2月16日(火)、飯田保健福祉事務所・(公財)長野県長寿社会開発センター飯伊支部・飯伊地区賛助会主催、下伊那郡老人クラブ連合会・いいだシニア連絡会共催により、「シニア世代の社会参加についての意見交換会」が飯田合同庁舎3階講堂で開催されました。

シニア大学飯伊学部1年生を中心に2年生や飯伊地区賛助会員など180人余りが参加しました。飯田市の生きがい教室として発足したコーラスグループ「いいだシルバーコーラスかざこし」、シニア大学31期生の有志が、平成23年3月の東日本大震災の被災地を支援しようということで始まった「シニア大ボランティア会」、鼎名古熊地区の単位老人クラブ「名古熊悠悠クラブ」、シニア大学35期生の高森町在住者により町の自然環境のグレードアップを図ろうと始まった「高35会(たかさご会)」の4グループによる活動発表が行われました。

このグループ活動発表会に引き続いて分散会に分かれ、シニア世代の社会参加についての意見交換会が行われました。



いいだシルバーコーラスかざこし



シニア大ボランティア会



名古熊悠悠クラブ



高35会

シニア世代のグループ活動発表会

平成28年度 飯伊地区賛助会役員・事務局員名簿

役 職	氏 名	住 所	備 考	
会 長	地区連絡協議委員 まきい きよと 巻井 清人	松川町元大島		
副会長	地区連絡協議委員 たがね たかお 銅柄 権夫	飯田市鼎中平		
副会長	編集委員 はやし としお 林 利夫	飯田市下久堅南原		
会 計		あかば たづこ 赤羽 田鶴子	飯田市鼎西鼎	
幹 事	活動サポーター	やまもと まさこ 山本 雅子	飯田市東新町	
〃	編集委員長	きがさわ たけし 氣賀澤 健	飯田市座光寺	
〃	副編集委員長	たけむら もとし 竹村 元志	豊丘村河野	
〃	活動サポーター 兼編集委員	しみず あきら 清水 明	飯田市座光寺	
〃	活動サポーター 兼編集委員	かなだ きみこ 金田 喜美子	飯田市鼎上山	
〃	編集委員	おかにわ たかこ 岡庭 登子	飯田市山本	
相談役	編集委員	なとり つぎお 名取 津義生	飯田市松尾清水	元賛助会長
〃		ささき まつあすけ 佐々木 亮助	飯田市鼎下茶屋	前賛助会長
監 事		しかわ りう 菅川 玲	豊丘村神稲	元賛助会長
〃		こしの わたる 越野 渡	豊丘村河野	元賛助副会長
事務局長 (相談役)	地区連絡協議委員	いざわ ひとし 石澤 一志	飯田保健福祉事務所福祉課	福祉課長
事務局次長		よしがわ かつまさ 吉澤 勝正	飯田保健福祉事務所福祉課	福祉課社会係長
事務局主幹		きたざわ こうめい 北澤 康明	飯田保健福祉事務所福祉課	福祉課社会係
社会活動推進 委員	シニア大学 賛助会担当	まつざわ ひであき 松澤 秀明	飯田保健福祉事務所福祉課	
シニア活動推進コーディネーター		いまむら みつとし 今村 光利	飯田保健福祉事務所福祉課	



(公財)長野県長寿社会開発センター飯伊地区賛助会会長・事務局 就任・退任挨拶

《就任》 新会長 巻井清人

この度、(公財)長野県長寿社会開発センター飯伊地区賛助会の役員会において、28年度の会長を仰せつかりました。

何分浅学無知ではございますが、当会の為に尽力するつもりでございますので、皆様のご協力とご支援を御願い申し上げます。

さて、近年長寿社会開発センター賛助会の活動は、長野県全体に低迷しており飯伊地区も例外ではありません。その対策の一環として、各地区毎にコーディネーターを配置して、本来の目的である「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を目指して、活躍し始めました。我が飯伊支部に於いても、28年度からコーディネーターが配属され、心機一転活動を始めます。我々会員一同も、この機会を逃さずに頑張り、新しい賛助会にしていきたいと思っております。皆様の今まで以上のご協力とご支援を重ねて御願い申し上げます。

《就任》 事務局次長 吉澤勝正

4月1日の人事異動で飯田保健福祉課勤務となり、県長寿社会開発センター飯伊支部の事務局次長を務めることになりました吉澤勝正と申します。

飯伊地区賛助会の皆様には日頃から文化活動やボランティア活動を始めとし地域の社会活動に積極的に取り組まれていることに敬意を表するとともに、今後とも組織運営とグループ活動が積極的に行われることを御期待申し上げます。

人生の先輩の皆さんに対して私では力不足ではありますが、賛助会活動に出来る限りのお力添えをさせていただきたいと思っております。よろしく御願いたします。

《就任》 シニア活動推進コーディネーター 今村光利

この度、(公財)長野県長寿社会開発センターでシニア活動推進コーディネーターとして勤務することになりました。シニア大学をはじめとする皆様の様々な活動をお手伝いさせていただくこととなりました。まだ右も左も判らぬ未熟者ではありますが、ひとつひとつの活動に寄り添いながら、学ばせていただき、より良き活動を推進できるよう務めたいと思っております。

皆様のご協力を賜りますよう、また御指導ご鞭撻の程宜しく御願いたします。

《退任》 前会長 佐々木亮助

飯伊地区賛助会員も年々減少し、27年度は変革の年でした。賛助会役員としてセンターの活動趣旨を、シニア大生に伝え、理解していただけるよう努力してまいりました。その結果十数名と今までになく多くの方々が、飯伊地区賛助会に入会していただき感謝申し上げます。今年度は、郡や市の高齢者クラブの方々と「シニア世代のグループ活動の発表と意見交換会」を行い、その培ってきた知識や経験を生かして、高齢者の仲間づくりや、健康で活躍できる社会づくり、など社会活動について考える貴重な機会を持つことが出来ました。飯伊地区賛助会を支えてくださった、多くの皆様方に感謝申し上げます、退任の挨拶といたします。

《退任》 事務局次長 石黒克美

飯田保健福祉事務所福祉課で3年間勤務し、県長寿社会開発センター飯伊支部の事務局次長を兼務させていただきました。

賛助会の皆さんには、飯伊支部の運営や事業の実施等において様々な場面でご支援ご協力をいただき本当にありがとうございました。

私こととなりますが、この3月で長野県を定年退職しました。地方公務員という周囲の目やしがらみから解放され、本当にやりたいことをじっくり考えてみたいと思っております。

賛助会の皆さんの変わらぬ行動力、活力を見習い、1歩を踏み出します。

賛助会役員就任・退任の挨拶

《就任》

清水 明

私はシニア大学36期生として、この春卒業することができました清水と申します。あっという間に2年が過ぎ去った思いがいたします。この度、賛助会の役員にどのお誘いがあり、器ではございませんがお引き受けすることにいたしました。元より力はございませんが頑張る所存です。よろしく御願いたします。

《就任》

岡庭登子

シニア大学36期卒業生とグループを立ち上げ、賛助会に加入させて頂きました。足腰の衰えを感じながらも、気分は「やりたいこと、やらねばいけないと思う今青春」、そんな思いです。一人でなく先輩の皆様の生活体験、知恵を頂きながら、何かできたら、そんなうぶな私ですがどうぞよろしく御願いたします。

《就任》

金田喜美子

私は、この春シニア大学を卒業し、賛助会に入会しました。
賛助会では、初めてで、分からないことが多いので、先輩の御指導を頂き会員の皆さんと協力合って、地域や仲間作りの活動を積極的に応援していけたらと思っています。どうぞよろしく御願致します。

《退任》

三村弘三

飯伊地区賛助会の事業も毎年卒業生の参画により、事業内容に向き合い精査されてきています。社会参加型テーマも自分自身の為に自立出来、健康で楽しく人生勉強に取り入れる考え方に変わってきています。
短い期間でしたが、これからも地域活動の糧になり、継承していくつもりです。賛助会の一層の活躍を切望します。

《退任》

宮下章子

二十五年度より賛助会役員としてお手伝いさせて頂きましたが、今年度をもって退任させていただきます。主に文芸欄の作品募集に関わらせて頂きましたが、皆様のご協力により無事掲載することが出来、感謝申し上げます。毎年行われる信州ねんりんピックスポーツ交流大会、文化芸術交流大会、地元にて行われるスポーツ大会、記念講演等々楽しく有意義に参加することが出来ました。
新役員の熱意あふれるご活躍と賛助会の一層の発展を祈念致します。お世話になりました。

《退任》

林あつ子

2015年から幹事をさせて頂きましたが、なかなか活動に参加できず、心苦しく思い、年度途中で辞表を出させて頂きました。信州ねんりんピックへの参加など、楽しい思い出もありますが、名ばかりの幹事で大変申し訳ありませんでした。深くお詫びいたします。お世話になりました。

シニア活動推進コーディネーターが 飯伊地域へ配置されました

シニア活動推進コーディネーターとは

長野県では、シニアが培ってきた知識や経験を活かし、社会活動や就業など、社会参加を行うことのできる「人生二毛作」社会づくりに取り組んでいます。

県と（公財）長野県長寿社会開発センターとが連携して、シニアの活動に関する取り組みを行う関係機関の連携体制づくりや、社会参加に係わるマッチングの支援など、シニアが生きがいを持って暮らすことができるように、シニア活動推進員を配置することになり、一昨年から長野（センター本部）、上小、諏訪に配置されておりました。今年度新たに長野、松本、飯田に配置されました。

シニア活動推進コーディネーターって何をするの

○連携機能強化を図る

社会福祉協議会やハローワーク、シルバー人材センター、高齢者クラブ等の関係機関とのネットワーク会議の定例開催などを行います。

○情報の発信をする

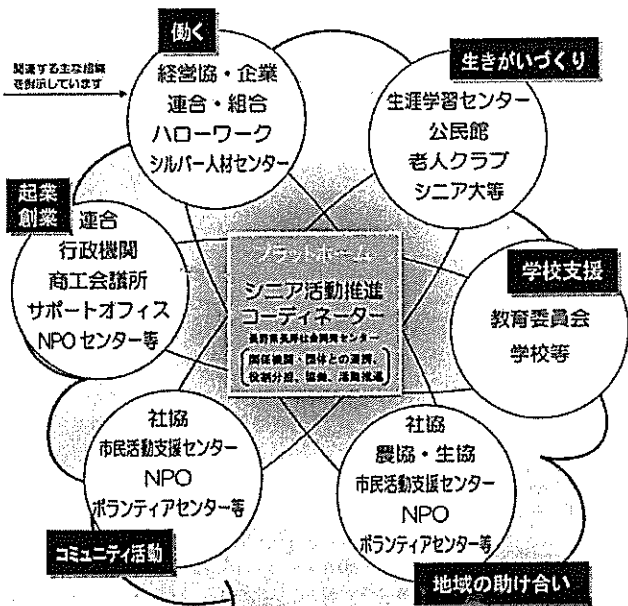
シニアの社会参加活動に関する情報を収集し、地域の課題や関係機関・シニア世代のニーズを把握し、多くの皆様方にその情報を伝えます。

○社会参加のお手伝い

シニアのもっている知識・技術・経験など活かして活躍できる場（機会）を提案し、関係機関と連携して社会参加の支援をします。

シニア活動推進コーディネーターが活動する姿

コーディネーターは高齢者の社会参加を推進している関係機関の情報収集、提供や情報交換会の開催などを通じて関係機関の連携を図り、高齢者の社会参加を支援します。



人生二毛作

しあわせ信州創造プラン
長野県総合5か年計画2013



お練りまつりの大名行列で髷を結うために1年半がかりで伸ばした髪をバサリと切り落として、徐々に日常に戻りつつあります。乞われるままに公民館を舞台にして得意でもない歴史講座を続けています。また、ある方から引き継いだ月1回の町歩きですが、歩くという字は「少し止まる」と書くように、しばし立ち止まって地域の再発見の解説を続けて年内には100回、通算150回を迎えます。

皆様の活動を地域活動につなげたり、世代間交流や関係機関との連携といった「人と人」をつぐ活動のコーディネートするお手伝いさせていただきますので、なんでも声を掛けてください。ご協力をお願いします。

賛助会総会のご案内

開催月日：平成28年6月3日（金）午後1時30分～

場 所：飯田合同庁舎 3階 講堂

総会の後グループ長会を開催いたします。

総会に先立ち下記の講演会を開催します。この講演会は一般公開しますので、どなたでもお仲間を誘ってお出かけください。

講演会のご案内

講師 中川村 延壽院 伊 佐 榮 豊 住職

講題 「 幸せに 生きる 」 — 日常の心がけ —

講師は長年にわたり教誨師きょうかいし活動を続けられ、27年9月教誨活動功勞により 法務大臣表彰をうけられました。また、法曹界・教育界等において要職につかれ、数々の表彰・感謝状をお受けになっております。

講演会の実績も多く大変ユニークなお話が聞けると思います。

是非お出かけください。

支部活動支援事業について

今年度、シニア活動推進コーディネーターが新たに飯伊地域に配置されたことから、新たな取組や活動が期待されます。どのような事業にしていくか現在検討中であります。

7月に発行されます支部会報《かざこし》で、お知らせできると思います、楽しみにお待ちしております。

《俳句》

父逝し涙星降る夜寒かな

鋤柄 惟夫

裸木の合間に透ける夕日かな

福沢 真一

《短歌》

雪消へし土手に青草萌い出て吾が心にも春の訪れ

村山 光春

《川柳》

中国のわがまま思考小チマイナ

税金を自分の物と勘違い

オレオレにからぬ自信それアウト

後期高齢者



《お願い》

(公財) 長野県長寿社会開発センター飯伊地区賛助会では年4回の機関誌「かざこし」を発行しております。その季節に併せたもの、行事、イベント等紹介しており、編集部では毎回皆さんからの原稿をお待ちしております。長寿社会開発センターでは大きく分けて4つの事業(意識づくり、人づくり、仲間づくり、コーディネートの仕組みづくり)を行っており、その中で、人づくり事業としてシニア大学運営事業、仲間づくり事業として賛助会活動推進事業を行っております。賛助会に入会されますと、グループへの支援、会員への特典等があります。詳しくは下記事務局、編集委員会まで・・・。

- ◇ 事務局 飯田保健福祉事務所福祉課 担当 松澤・今村 ☎ 0265-53-0464 FAX 0265-53-0474
- ◇ 編集委員会 同上 担当 氣賀澤 ☎ 0265-23-0719 FAX 0265-23-0719

《編集後記》

つい先ごろ「かざこし」40号の編集を終えたと思ったら、あっという間に3ヶ月過ぎ、もう41号の編集に取り掛かる時期になってしまった。月日の経つのが速いこと。年齢を重ねると時間の経つのが殊更早く感じられるようになり、自分が老いぼれてきたのだなああとつくづく思うこの頃です。

さて、飯伊地区賛助会は新年度を迎え、佐々木亮助会長から巻井清人新会長にバトンタッチされ、新体制でスタートしました。また、今年度から新たに「シニア活動推進コーディネーター」が飯伊地区に配置され、会員の皆さんの社会参加活動を支援していただけるようになりました。当地区賛助会も、会員数が減少し寂しい限りですが、今期こそ歯止めをかけるような斬新な施策を練って賛助会の活性化を図らねばならない時期が来ていると思います。会員同志や、シニア大学生の皆さんとの交流をより深めて、賛助会に参加していただけるような新企画も大切だと感じます。そんな意味で飯伊地区賛助会の機関誌「かざこし」を広報として有効に活用できるような紙面にして行きたいと考えております。

編集委員長 氣賀澤 健

シニア世代の社会参加についての

意見交換会



お世話になった
ファシリテーター（進行役）の方々



熱心に耳を傾け
メモをとる参加者たち



これぞ自熱教室!! グループごとの意見交換会



意見交換会の総括
賛助会会長 佐々木亮助

<意見交換会で出された発言を紹介します>

- 小さくてもいいから続けて行くことが世の中につながっていくことになる。
- いろいろなことに参加することが健康で長生きできる秘訣。
- 健康作りが生きがい作りとなり、それが地域作りにつながる。
- シニア30年をどう生きるかだけでなく、自分たちのやっていることを次の世代につなげていくことが大切。